

多重課題・時間切迫(シミュレーション研修)



研修のねらい

- ・複数患者の情報を把握することができる
- ・多重課題が発生したときに、優先順位をつけて課題に対応することができる
- ・丁寧な態度で対応できる

複数の患者さんの情報収集を行い、看護につなげられるように実践を行いました

実施者の情報収集をグループで確認し、意見交換を行いました。
必要な情報を収集するには・・・！
たくさんある情報の中で、何が必要か見極める知識が必要だね





教育委員がデブリーファと患者役となり、グループで実践後意見交換を行いデブリーフィングが行われました



意見交換を行う中で、アセスメントに必要な情報整理、優先順位をどのようにつけていったらよいか学ぶことができました



『病院参観』の企画で共立高等看護学院と帝京山梨看護専門学校の先生方が研修の見学を行いました。病棟見学も行い卒業生の働いている姿を見て成長を感じられたそうです。

研修を修了しての感想

7A 病棟:松澤 今井 深沢 生山

対応中にナースコールがあった時、患者に丁寧な対応をしていくこと、優先順位はどうなのか、他のスタッフにどのように協力を求めるのが大切であると思った。また研修では3件ほどの多重業務であったが実際はさらに多くの業務が重なることが考えられるため、対応ができるようあらかじめ優先順位を考えた情報収集を行ったり、日々の関わりの中で患者を知り臨機応変に動けるようにしていきたいと思った。

